



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社データホライゾン

コード番号 3628 URL <http://www.dhorizon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内海 良夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 内藤 慎一郎

TEL 082-279-5525

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	840	1.2	△248	—	△248	—	△289	—
26年3月期第2四半期	830	14.7	△234	—	△232	—	△204	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △288百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △205百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△83.12	—
26年3月期第2四半期	△58.90	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	1,205	567	567	46.4	160.91	
26年3月期	1,671	852	852	50.7	243.87	

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 559百万円 26年3月期 848百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,035	△11.6	7	—	8	—	114	—	32.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	3,557,060 株	26年3月期	3,557,060 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	78,851 株	26年3月期	78,851 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	3,478,209 株	26年3月期2Q	3,478,209 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書 .....	8
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
4. 補足情報 .....	13
販売の状況 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間において、当社は、医療関連パッケージシステム事業の主体である連結子会社コスモシステムズ株式会社の譲渡、プログラム開発を委託していた連結子会社DATA HORIZON PHILS,INC.の解散を決議し、医療関連情報サービス事業への経営資源の集中を図り、データヘルス（保険者がレセプト・健診情報等のデータ分析に基づき、PDCAサイクルで効果的・効率的に実施する保健事業）を中心とした保険者向け情報サービスの営業活動と研究開発を積極的に推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、8億40百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

損益面におきましては、医療関連情報サービス事業のうち保険者向け情報サービスにおいて、前年同期に比して利益率の高いサービスの売上が増加したことにより原価率が改善したものの、研究開発費の増加や販売体制強化に伴う人件費の増加などにより販売費及び一般管理費が増加し、営業損失は2億48百万円（前年同期は2億34百万円の営業損失）、経常損失は2億48百万円（前年同期は2億32百万円の経常損失）となりました。また、四半期純損失はコスモシステムズ株式会社において繰延税金資産の取崩しを実施したことや、DATA HORIZON PHILS,INC.の解散決議を受けて減損損失を計上したことなどにより損失が拡大し、2億89百万円（前年同期は2億4百万円の四半期純損失）となりました。

なお、コスモシステムズ株式会社の譲渡益につきましては、第3四半期での計上となります。詳細は、平成26年10月28日発表の「子会社の異動（株式譲渡）及び、特別利益発生に関するお知らせ（開示事項の経過）」を、ご覧ください。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 医療関連情報サービス事業

当第2四半期連結累計期間における医療関連情報サービス事業の売上高は、4億4百万円（前年同期比5.9%増）となりましたが、研究開発費の増加およびデータヘルス計画拡販のための営業体制強化に伴う人件費の増加などにより、セグメント損失は57百万円（前年同期は36百万円のセグメント損失）となりました。

保険者向け情報サービスの売上高は、前期に引き続き国民健康保険向けの受注が増加し、3億67百万円（前年同期比16.6%増）となりました。

このうち、国民健康保険向けの売上高は、東日本地域では、首都圏や北海道で新規保険者獲得や提供サービスの追加などにより増加しております。西日本地域においても従来当社のシェアが低かった山口県での受注が拡大したほか、近畿圏や九州でも新規受注が増加し、順調に売上を伸ばしました。

また、当期は国策として推進されているデータヘルスに関する保険者の関心が高まっており、今後も新規保険者の獲得が見込まれます。

一方で、健康保険組合向けの売上は、データヘルス関連が増加しているものの、従来から提供しているジェネリック医薬品通知サービスは減少し、全体ではわずかに減少しております。

データヘルス関連の本格的な受注は、厚生労働省と健康保険組合連合会が取り纏めたデータヘルス計画書作成の手引きの説明会が終了する11月下旬以降に見込まれ、機能を絞って定型化したデータヘルス計画書を短納期で大量に提供する体制の構築を進めております。

保険者向け情報サービスにおいては、データヘルス関連サービスを今後の収益の柱とすべく活動を

推進しており、紙レセプト時代からレセプトを活用した保健事業のためのシステムを開発し提供してきた技術的アドバンテージと、広島県呉市を始めとするデータヘルスに適合した効果的・効率的なサービスの提供実績をもとに、積極的な拡販を行っており今後も大幅な売上高増加を目指しています。

その他の医療関連情報サービスは、データベースの提供および保守料や医療関連の受託開発などであり、当第2四半期連結累計期間の売上高は37百万円（前年同期比44.6%減）となりました。

## ② 医療関連パッケージシステム事業

当第2四半期連結累計期間における医療関連パッケージシステム事業の売上高は、4億35百万円（前年同期比2.8%減）となりましたが、セグメント損失は縮小し56百万円（前年同期は72百万円のセグメント損失）となりました。

保険薬局向けシステムにおいては、前年の下半期に新商品の地域別対応が主要な地域で完了し、当期は期首から全地域での販売を開始しております。直販の売上高は順調に回復しましたが、販社での販売の回復が遅れたことなどにより、保険薬局向けシステム全体では売上高の回復に至らず、2億48百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

病院向けシステムにおいては、前期に従来より大幅に増加した水準をほぼ維持し、売上高は1億81百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は、前期末に比べて4億66百万円減少し、12億5百万円となりました。

### (資産)

当第2四半期末の流動資産の残高は、納品前のデータヘルス計画等の仕掛品が52百万円増加しましたが、前期末残高の回収により売掛金が4億62百万円減少したことなどで、前期末に比べて4億34百万円減少しました。

当第2四半期末の固定資産の残高は、DATA HORIZON PHILS,INC.における減損と、減価償却により有形固定資産が減少し、コスモシステムズ株式会社で繰延税金資産の取崩しを実施したことおよび投資その他の資産が減少したことなどにより、前期末に比べて32百万円減少しました。

この結果、当第2四半期末の資産合計は、前期末に比べて4億66百万円減少し、12億5百万円となりました。

### (負債)

当第2四半期末の流動負債の残高は、前期末残高の支払いによる買掛金の減少54百万円、短期借入金の返済による減少1億円、その他に含まれる未払消費税等の納付による減少などにより前期末に比べて1億68百万円減少しました。

また、固定負債は、長期借入金やその他に含まれるリース債務の返済などにより、前期末に比べて11百万円減少しました。

この結果、当第2四半期末の負債合計は、前期末に比べて1億80百万円減少し、6億38百万円となりました。

### (純資産)

当第2四半期末の純資産の残高は、四半期純損失2億89百万円により利益剰余金が減少し、5億67百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年8月21日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました平成27年3月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

国の方針によりレセプト(診療報酬明細書および調剤報酬明細書)および健診データに基づく保健事業をPDCAサイクルに則って運用するデータヘルスが推進され、保険者に本年度はPlanにあたるデータヘルス計画の作成が義務付けられています。

当期は、順調に増加する国民健康保険向け売上に加え、ジェネリック医薬品通知サービスが中心であった健康保険組合向けには、新たに開発したデータヘルス計画を投入し260保険者からの受注を目標に、売上高20億35百万円、営業利益7百万円、経常利益8百万円、当期純利益1億14百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	360,313	350,515
受取手形及び売掛金	785,778	323,172
商品	3,466	10,460
仕掛品	5,883	58,351
原材料及び貯蔵品	12,032	12,133
繰延税金資産	38,144	20,692
その他	44,070	36,869
貸倒引当金	△5,799	△2,383
流動資産合計	1,243,886	809,810
固定資産		
有形固定資産	188,595	172,529
無形固定資産		
ソフトウェア	114,158	101,618
ソフトウェア仮勘定	9,011	21,065
のれん	619	-
その他	792	792
無形固定資産合計	124,580	123,475
投資その他の資産	114,835	99,858
固定資産合計	428,010	395,862
資産合計	1,671,896	1,205,672
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	207,723	153,666
短期借入金	250,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	25,392	20,292
未払法人税等	4,071	2,007
賞与引当金	44,453	49,091
その他	195,563	183,274
流動負債合計	727,203	558,331
固定負債		
長期借入金	26,990	19,394
退職給付に係る負債	44,798	47,007
その他	20,300	13,739
固定負債合計	92,087	80,140
負債合計	819,290	638,471

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	454,200	454,200
資本剰余金	154,200	154,200
利益剰余金	281,994	△7,098
自己株式	△52,516	△52,516
株主資本合計	837,878	548,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,800	7,242
為替換算調整勘定	2,560	3,645
その他の包括利益累計額合計	10,359	10,887
新株予約権	3,709	7,180
少数株主持分	659	348
純資産合計	852,606	567,201
負債純資産合計	1,671,896	1,205,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	830,034	840,224
売上原価	565,554	549,328
売上総利益	264,480	290,896
販売費及び一般管理費	498,783	539,209
営業損失(△)	△234,303	△248,313
営業外収益		
受取利息	27	26
受取配当金	201	198
貸倒引当金戻入額	2,173	3,416
雑収入	1,058	804
営業外収益合計	3,460	4,443
営業外費用		
支払利息	1,516	1,451
為替差損	73	408
支払手数料	-	2,500
営業外費用合計	1,589	4,360
経常損失(△)	△232,432	△248,229
特別損失		
固定資産除却損	575	167
減損損失	-	9,386
たな卸資産除却損	-	1,206
特別損失合計	575	10,759
税金等調整前四半期純損失(△)	△233,006	△258,988
法人税、住民税及び事業税	1,067	925
法人税等調整額	△29,071	29,535
法人税等合計	△28,004	30,460
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△205,002	△289,448
少数株主損失(△)	△127	△356
四半期純損失(△)	△204,876	△289,092

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△205,002	△289,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△203	△558
為替換算調整勘定	△558	1,131
その他の包括利益合計	△761	573
四半期包括利益	△205,763	△288,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△205,614	△288,564
少数株主に係る四半期包括利益	△149	△311

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△233,006	△258,988
減価償却費	44,375	40,658
のれん償却額	833	159
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,173	△3,416
賞与引当金の増減額(△は減少)	29,888	4,638
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,712	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	2,209
受取利息及び受取配当金	△228	△224
支払利息	1,516	1,451
固定資産除却損	575	167
減損損失	-	9,386
売上債権の増減額(△は増加)	348,215	462,846
たな卸資産の増減額(△は増加)	△36,628	△60,769
仕入債務の増減額(△は減少)	11,163	△54,057
その他	△55,078	12,237
小計	112,163	156,296
利息及び配当金の受取額	248	224
利息の支払額	△1,507	△1,164
法人税等の支払額	△2,962	△2,077
法人税等の還付額	13,629	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	121,571	153,279
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△15,708	△9,014
無形固定資産の取得による支出	△18,512	△25,289
その他	5,045	△840
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,175	△35,143
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	70,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△15,823	△12,696
配当金の支払額	△162	△16
リース債務の返済による支出	△15,640	△15,592
財務活動によるキャッシュ・フロー	38,375	△128,304
現金及び現金同等物に係る換算差額	△337	370
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	130,435	△9,798
現金及び現金同等物の期首残高	274,494	360,313
現金及び現金同等物の四半期末残高	404,929	350,515

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療関連 情報サービス 事業	医療関連 パッケージ システム 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	382,329	447,705	830,034	—	830,034
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	382,329	447,705	830,034	—	830,034
セグメント損失(△)	△36,049	△72,170	△108,218	△126,084	△234,303

(注) 1. セグメント損失の調整額△126,084千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療関連 情報サービス 事業	医療関連 パッケージ システム 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	404,865	435,360	840,224	—	840,224
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	404,865	435,360	840,224	—	840,224
セグメント損失(△)	△57,536	△56,663	△114,199	△134,115	△248,313

(注) 1. セグメント損失の調整額△134,115千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医療関連情報サービス事業」セグメントにおいて、平成26年9月16日付けで解散を決議した連結子会社DATA HORIZON PHILS,INC.が保有する事業用資産について減損損失9,386千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況

当第2四半期連結累計期間の販売実績をサービス・製品の区分ごとに示すと、次のとおりであります。

(サービス・製品別売上高)

サービス・製品の名称	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増 減	
	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日		自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日		金額 (千円)	増減率 (%)
	販売高 (千円)	構成比 (%)	販売高 (千円)	構成比 (%)		
保険者向け情報サービス	315,288	38.0	367,708	43.8	52,420	16.6
その他	67,041	8.1	37,157	4.4	△29,884	△ 44.6
医療関連情報サービス	382,329	46.1	404,865	48.2	22,536	5.9
保険薬局向けシステム	249,143	30.0	248,883	29.6	△259	△ 0.1
病院向けシステム	192,727	23.2	181,601	21.6	△11,126	△ 5.8
その他	5,835	0.7	4,875	0.6	△960	△ 16.5
医療関連パッケージシステム	447,705	53.9	435,360	51.8	△12,346	△ 2.8
合計	830,034	100.0	840,224	100.0	10,190	1.2

(注) 記載金額は、千円未満を四捨五入して記載しております。